臨時会
7月2日

平成30年第3回臨時会を7月2日開会し、一般会計補正予算他3件を可決し、同日閉会しました。

一般会計

歳入歳出予算に18億60万円を追加し、総額を45億6422万円としました。

【歳入】

▽前年度繰越金
1060万円増

新規で付いたもの

▽農山漁村振興交付金
800万円

【歳出】

▽「ずっと住まいるたきのうえ！」支援事業
1060万円増

新規で付いたもの

▽滝上町農泊観光地域づくり協議会補助金
800万円

国民健康保険特別会計

歳入歳出予算に19万円を追加し、総額を3億9033万円としました。

【歳入】

▽前年度繰越金
19万円増

【歳出】

▽保険税還付金
19万円増

介護保険特別会計

歳入歳出予算に1000万円を追加し、総額を3億8258万円としました。

【歳入】

▽前年度繰越金
42万円増

新規で付いたもの

▽地域支援事業交付金（国庫補助金）
38万円

▽地域支援事業交付金（道補助金）
19万円

【歳出】

新規で付いたもの

▽高齢者配食サービス見守り事業
100万円

質疑

滝上町農泊観光地域づくり協議会補助金

＜髙橋議員＞

一．どのような協議会が結成されるのか。

二．農泊という言葉でいくと宿泊ということになるのか。それとも違う意味も含まれているのか。

＜星商工観光課長＞

一．メンバーは観光協会、畑作振興会、七面鳥生産組合、ハッカラボ。それから、林業協同組合、渚滑川とトラウトを守る会、その他団体を考えている。

二．農泊というのは農山漁村の所得向上実現のためインバウンドを含めた旅行者に来てもらい農産物等の消費拡大を取り組むための事業。

＜髙橋議員＞

今後、町も外国人を呼ぶことに力を入れなければならない。英語の堪能な方がいなければできないと思うが、人材の目途は。

＜星商工観光課長＞

英語指導助手の方が7月で任期を終えるので、8月から関わって頂くように現在調整中である。

高齢者配食サービス見守り事業

＜髙橋議員＞

一．いつぐらいから開始できるのか。

二．目的に利用者の健康維持とあるが、福祉政策は単発ではなく、トータルでコーディネートされていくものと思うが、これまでの介護予防との関連についてどのように考えているのか。

＜奥田保健福祉課長＞

一．これから周知、取りまとめをして9月ぐらいからを予定している。

二．介護予防事業としてシャキット体操に取り組んでいるが、参加者を対象に低栄養と思われる方にこの配食利用を繋げていき、将来的に医療費や介護サービス費の抑制に繋がれば良いと考える。

＜松ヶ瀬議員＞

高齢者の宅配弁当なので内容・質等についての考えは。

＜奥田保健福祉課長＞

栄養士が作成する高齢者に必要な1食当たりの栄養量や、味付け等の資料を業者に提供していく方向である。